

本願寺西山別院報

久遠

-QUON-

第47号

〒615-8107
京都市西京区川島北裏町
29番地
Tel:075-392-7939
Fax:075-394-4416
e-mail:nishiyamabetsuin@
msa.biglobe.ne.jp

本願寺西山別院輪番
得度習礼所・教師教修所所長
西山幼稚園園長

中原敬恵



謹んで 新春のお慶びを 申しあげます。

年齢を重ねるごとに一年が早く感じます。皆様はどんな二〇二二年を過ごされましたか？そして、どんな二〇二三年を過ごそうとお考えでしょうか？

年齢を重ねて時が過ぎるのが早く感じることを、「ジャーナーの法則」と言い、十歳の一年は人生の十分の一、五十歳の一年は人生の五十分の一となり、体感的に早く感じるそうです。さらに、子供のころは毎日学校に行ったり友達と

遊ぶことで、沢山の新しい楽しみや刺激があるのですが、大人になると知識や経験が増え、新しいことに出会うことが少なくなることも一因でしょうか。



本年は、宗祖親鸞聖人が御誕生になって八五〇年の節目の年であり、その御生涯は九〇年の時を刻まれました。時代を考えても大変ご長寿であったその御生涯は、九歳という幼い時に出家し、二十年もの長い間を比叡山で過ごされ、法然聖人に出遇われてからは、多くの苦難に逢着しながらもただひたすらにお念仏の道を歩まれました。親鸞聖人も、晩年は自分の人生が早く進んでいくように感じられていたのでしょうか。門弟たちに、もっと阿弥陀様のことを、お



念仏のことを伝えたいと歩まれたご生涯は、便利になった現代では想像することさえ難しい歩みであったのではないのでしょうか。



ご縁を喜び、お念仏とともに

親鸞聖人御誕生

8500
立教開宗

親鸞聖人が今の私と同じ年だったところ、既に主著『顕浄土真実教行証文類(教行信証)』を著され、多くの門弟たちに阿弥陀様から賜るお念仏について説いておられたと思うと、自分の至らなさはばかりが気になります。

一年一年があつという間に過ぎていくと感じる今、この一瞬を生きている奇跡を慶びながら、至らない私もそのまま救うぞとお誓いくださった阿弥陀様にお任せし、皆様と親鸞聖人が御生涯をかけて私たちに伝えようとしてくださったことは何かと聴かせていただきながら過ごしていきたいと思えます。

本願寺では本年三月二十九日(水)より「親鸞聖人御誕生八五〇年・立教開宗八〇〇年慶讃法要」が勤修されます。当別院からも五月八日(月)に団体参拝をさせていただきますので、お勤めをさせていただきます。

また、来年令和六年六月には当別院において慶讃法要をお勤めさせていただきます。お勤めをして、ご法話を聞いて過ごすだけではなく、多くの発見をしながら、お念仏と笑顔が溢れる期間にしたいと知恵を絞っております。

一年が長く感じる子供たちに負けじと、多くの楽しみや刺激を求めながら、共に親鸞聖人がこの世にお生まれくださり、私たちにお念仏の教えを示してくださいましたことを慶ばさせていただきます。

本年も、本願寺西山別院をどうぞよろしくお願いたします。

